



開物成務

令和元年 11月 15日(金)発行

校長 津田 将美

しいのみ、芽を出せ、大きなあれ



きれいな歌声や気持ちの良い演奏が校長室まで届いてくる日々が続いていました。4年生の音楽会に向けた練習に始まり、しいのみコンサートに向けた各学年の練習。それぞれの成長に合わせたその学年らしいメロディーを聴いていると、幸せな気分になります。

その成果を発表する「しいのみコンサート」が14日に行われました。

「しいのみ」を生む椎の木は、ブナ科の常緑高木で関東以西の暖地に自生し、果実はどんぐり状で食用になります。「椎の実」は太古から動物や人間が競って食べた貴重な木の実だそうです。他のドングリと比べて苦みがなく、栄養がたっぷりつまっていて、WEBでも様々な調理法が紹介されています。一方木材の方も建材・家具材などに使用され、椎茸の原木などで知られる栄養たっぷりの木です。椎は別称「シイガシ」とも言われる開成町の木で、「シイガシくん」というキャラクターにもなっています。



そんなことを調べてみると、この「しいのみコンサート」に込められた願いも自然と伝わってきます。たっぷりと栄養を蓄えた「しいのみ」たちが、じっくりと芽を出し、生長（成長）していくようすを毎年、感動と共に観ることができています。♪しいがしくん♪

今年のしいのみコンサートも、そんな感動の連続でした。学校で勉強してきたこと、友だちと関わることで学んだこと、成長したこと、そしてこの日のために一生懸命練習してきた成果が、一人一人の「しいのみさん」たちの心に栄養としてたっぷり蓄えられ、すてきな芽を出しているなあ、と感じられました。

3年生：リズムよく、心をひとつにワクワクするような発表をすることができました。「開成小学校は楽しくてハッピーなところだよ」という気持ちが伝わってきました。

1年生：声や楽器がよくそろって、協力して練習してきたことが感じられる発表でした。「学年の仲間と一緒にがんばっているよ。」という気持ちが伝わってきました。

5年生：手話を交えた迫力のある気持ちのこもった発表でした。「これから開成小学校のリーダーとしてがんばっていきたい」という強い気持ちが伝わってきました。

かいせい学級：いろいろな楽器の演奏により、一人一人の良さがきらりと光る発表でした。「かいせい学級や交流学級で仲よくがんばっているよ」という気持ちが伝わってきました。

4年生：音楽会を乗り越えたという、自信にあふれる発表でした。「どんなことに対しても、気持ちをひとつにして仲間とがんばっていこう」という気持ちが伝わってきました。

2年生：本当に音楽を楽しんでいる様子が、しっかりと伝わってくる発表でした。「仲間といっしょにする音楽はすばらしいよ」という気持ちが伝わってきました。

6年生：組立体操の曲を演奏し、胸を張りながら、正に最高学年として見本となる発表でした。開成小学校のすばらしさを後輩たちに伝えようとする気持ちが伝わってきました。

最後の「学校長の言葉」で話した各学年の感想です。これは私の感想であり、すばらしい発表ばかりだったので、人によって感じ方は十人十色だったことと思います。

音楽の得意な子も、苦手な子も、大勢の中での活動や大きな音が苦手な子も、その子なりの良さをたくさん表現できたコンサートでした。それは、一人一人の良さを認めるすばらしい仲間がいたからです。開成小学校のすばらしさを堂々と表現してくれた全校のすてきさんたちが、今年もしいのみコンサートですばらしい足跡を残してくれました。

(教育長さん、議会議長さん、地域の方々からも心のコもったお褒めの言葉をいただきました)



大きな行事を通して

体験的学びから

連合体育大会 開会式での 真剣な表情



6年生の連合体育大会（10月24日）、4年生の足柄上郡小学校音楽会（11月1日）が終わりました。全校の応援を受け、学校代表としての自覚を持って参加した2つの行事では、どちらの学年も積み上げてきた練習や協力の成果を十分に発揮してくれました。とても頼もしい6年生、4年生でした。

日々の授業もちろん大切ですが、このような大きな行事を通して、本校の教育目標にある「自ら学ぶ意欲」「豊かな心」「成長し続ける姿勢」、そしてインクルーシブな学校としての素地が積み上がってきていることをうれしく思います。

昨日のしいのみコンサートでも、各学年のすてきな部分がたくさん表現されていました。ご家庭でのお褒めの言葉が、しいのみさんたちの心にまた、栄養をたっぷりと注いでくれると思います。

音楽会 大きな舞台でも 堂々と



神奈川県優秀授業実践教員表彰

11月6日に、県の優秀授業実践教員表彰が行われ、本校の志澤明日香教諭が県西教育事務所の推薦を受け見事受賞が決定し、表彰式に参加してきました。研究主任を務め、本校職員の授業力向上の中心となって尽力している志澤教諭の受賞は、開成小学校としても、とても名誉なことです。また、授業実践が表彰されたことは、授業の主体である子どもたちが、評価されたことでもあります。とても嬉しいです。

学校全体でこの受賞に感謝し、喜びを共有しながら、更なる研究、研修を推し進め、その成果を日々の授業の中で子どもたちに具体的に返していきたいと思います。



湘南ベルマーレによるボール寄贈及び体育授業 11月5日(火)

「J1湘南ベルマーレによる体育巡回授業」に続き、フットサルチームによるボール寄贈とサッカーの授業がありました。金井コーチやトッププレイヤーの刈込選手にいただいた指導から、「協力すること」「話し合うこと」「仲間を大切にすること」の大切さを教えていただきました。体育学習でも、生活の中でも生かせる大切な学びでした。



CAP研修(家庭教育学級) 11月7日(木)

家庭教育学級と共催で、CAP研修(大人版)が開催されました。2年連続でもあり、参加者数は少なかったのですが、その分、密度の濃い研修会となりました。子どもたちの人権を守るための親としての役割、話の聴き方等を役割演技等を入れながら学びました。

参加者からは、とても内容が良いものなので、次回は是非多くの保護者の方に参加してほしい、という声があがりました。



4年生対象のCAP研修は、12月16日に開催され、子どもたち自身で自分や仲間の人権を守ることを学びます。

酒匂川の歴史を学ぶ 11月11日(月)

足柄の歴史再発見クラブの方々を講師に、4年生を対象に「酒匂川の歴史」の授業が行われました。先人の努力により、私たちの今の生活が守られていることを酒匂川の治水事業を中心に学びました。

18日には、実際に酒匂川に行って、自分たちの目で見て、考えて、学びます。このような体験的な学びを支えてくださっている皆様のおかげで、開成小学校の「考えを磨き合うすてきさん」が育てられています。

文命堤の基、蛇籠(じゃかご)の説明を聞く子どもたち

